

證誠寺だより

発行所：浄土真宗本願寺派 證誠寺 〒292-0831 木更津市富士見2-9-30
 発行責任者：隆 直浩
 TEL.0438-22-2018 FAX.0438-22-7573
 http://www.shoji.net

題字：隆 政子(前々坊守)

2011年7月1日

vol. **18**

親鸞聖人750回大遠忌法要

千葉組 本山参拝 證誠寺第一陣

6/10~12



平成24年1月16日親鸞聖人の750回忌を前に、23年4月より11月まで6回に分けて、本願寺御影堂において大遠忌法要が執り行われ、證誠寺からは6月11日午前の部に證誠寺住職をはじめ総勢44名が参加した。
 全国各地から門信徒が結集し

そちこちで各寺式章と旗が入り乱れるなか、御影堂へと入場した。これだけの人数であるから本堂へはとでも入れないであろうという思惑をよそに、何とあるうことか最前列の席に案内され、一同厳肅な中にも感激を新たにしました。
 あまりにも厳かな雰囲気は圧倒されて内陣出勤の住職の写真が上手く撮れなかったのが残念だった。



伊勢神宮にて

夜は賢島・宝生苑で懇親会、隠し芸や歌、抽選等で昼間の緊張は解き放された。前日は大谷本廟・青蓮院・日野誕生院に、12日の最終日は高田派本山専修寺・名古屋別院に参拝という充実の3日間だった。

お寺の行事

7月

8日 仏讃歌コーラス

11日 踊り練習

14日 仏壮勉強会

16日 常例法座

塚本慈顕師

8月

16日 盆会

小笠原義宣師

9月

3日 全国仏壮連盟大会

5日 総代仏壮仏婦役員会

8日 踊り練習

8日 仏壮勉強会

9日 仏讃歌コーラス

23日 彼岸会

竹田嘉門師

13時半

10時半

13時半

13時

13時

京都

13時半

10時半

13時半

13時半

13時

三月 彼岸会



定例法座

[3月・4月・5月]

春彼岸3度目の川崎市高願寺宮本義宣師は東日本大震災直後であり、最前列の十代の女子2人の聴聞もあり、「生きる力」について語られた。80歳の祖母と16歳の孫の奇跡的と報道された9日ぶりの救出劇から、大切な相手がいたからお互いに支え合えた。人は誰でも自分の為だけより他の人の為と思う時の方が一層の力が出せる。良きライバルを持つ事も同じと。目標を持ってない時は他者の勧めを聞く事も大切。若い時からの計画通り、思い通りにならないもの。偶々ついた職、縁の重なりで力を発揮し、晩年を迎える人がほとんど。これで良かったのだとお念仏は導いて下さる。人と人との繋は危うい。突然別なければなら

い時がある。そんな時でも我命を見捨てない。一人ぼっちにしない。共に生きて下さるのが阿弥陀様だと教えて下さったのが親鸞聖人と結ばれた。

■四月 定例法座

一カ月前の大震災の余震が頻繁で当日の朝も震度3に見舞われた。が、聴聞者数に大差はない。無常を目の当たりにし、不安感に被われている時節柄、長玄寺山本昭淳師は南無阿弥陀仏の意味とお用きについて語られた。

「南無」は如来様の「任せよ」のお心。「阿弥陀」は光も命も遮るものが無いの意で、光の届かない所が無い、命に限りがない(いつでも)ということ。「仏」とは覺りを得られた方のこと。「腹を立てない」「貪らない」「愚痴らない」「全てを平等に愛せる」方だと。故にお念仏する私がどこにしようとも、どんな状態の時であろうとも、私と共にいて下さって、必ず救って下さり、私に安心を与えて下さる。お念仏の念は今と心によってできています。仏様のお心が今、私の心に届いたのがお念仏と結ばれた。

■五月 定例法座

神戸と言え、震災の町である。谷

川弘顕講師は、その被災地神戸から来られたというだけに、開口一番今回被害に遭われた方々は犠牲者ではなく被害者であるという言葉にも実感がこもる。

人間の心には二重の底がある。一つは私の願いを仏に聞き届けてもらおうというものである。もう一つは仏より衆生に届けられるものである。十萬衆生、生きとし生けるものをすべて救うという如来の願である。この本願に遇うために私たちの人生はあるのである。「本願力にあひぬれば、むなしくする人ぞなき」、本願力に遇わない人の人生は生きることだけをただ生きるだけの、もつと言うなら息をしているだけのむなしなものになると言われるのである。

私の命の底にある仏心即ち菩提心が仏の願力によって目ざめさせられ、どんな悲惨な事実をも事実として受け止めることができる力が与えられると説かれたのである。



東京教区仏教婦人会

連盟総会 築地別院

5月31日朝、肌寒さは感じたものの、前日とは一転の好天に恵まれた上、当寺からの参加者12名は、正面最前列と二列目という聴聞最適の座に着けた。総会は滞りなく進み、兵庫の藤栄行信師は「震災を通してことばの力」と題して「道標(その手が好きです)」「母さんの歌」(講師の愛唱を会場も共に歌う)「おふくろさん」の歌詞から親心、如来の大悲心を説かれた。明るい中での帰宅も加わり、喜びの多い一日でした。

合掌



東京教区仏社会連盟総会

5月29日、築地本願寺にて開催された大会に、證誠寺仏社会から、富永和雄、後藤数人、菊地優、西村健太郎、山田裕、星原光博(敬称略)の6名が参加し、松本智量師、天岸常圓師の御法話を聴聞しました。



平成23年度 仏壮・仏婦合同総会開催

平成23年度證誠寺仏教壮年会活動のしくみ

役割	活動内容	担当者
寺行事推進	お寺の年間行事の中、仏社会の受持ち範囲の役割分担を行い、実行を促す。 <input type="checkbox"/> 狸まつり <input type="checkbox"/> 報恩講 <input type="checkbox"/> 除夜会、元旦会 <input type="checkbox"/> 盆会 <input type="checkbox"/> 彼岸会 <input type="checkbox"/> その他	◎平山敬介 ◎長谷川興弘 吉田克己 保井弘行 野中 登 山田 裕
教化布教	證誠寺仏社会内外の教化布教活動計画を立案し、実行する。 <input type="checkbox"/> 仏壮勉強会 <input type="checkbox"/> 他寺巡拜 <input type="checkbox"/> 他寺との交流 <input type="checkbox"/> 他教化団体研修参加 <input type="checkbox"/> その他	◎伊藤則久 ●吉野重蔵 ●富永和雄 折田兼隆 金綱照夫 西村健太郎
親睦	仏壮事業計画の中、親睦に関わる行事計画を立案、実行する。 <input type="checkbox"/> 総会後の親睦会 <input type="checkbox"/> 忘年会 <input type="checkbox"/> ゴルフ大会 <input type="checkbox"/> 囲碁将棋大会 <input type="checkbox"/> 新年会(寺、仏婦合同) <input type="checkbox"/> お寺日帰り研修(寺、仏婦合同) <input type="checkbox"/> その他	◎保泉庄平 ◎香々見善吉 中村 隆 菊地 優 朝原幸穂 宮崎 勝
総務	仏壮行事に関わるまとめ的な事を実行する。 <input type="checkbox"/> 総会資料作成と会員への案内、送付 <input type="checkbox"/> 会員への書籍伝道まとめ(築地新報) <input type="checkbox"/> 外部研修参加者のとりまとめ(千葉組、東京教区、その他) <input type="checkbox"/> 会員への年末挨拶作成・送付 <input type="checkbox"/> その他	◎大澤藤満 中村 隆 坂口 惇 五十嵐浩 片山勝弘 西村健太郎

会長・(三役会)

相談役

◎ ● 相談役
総代



平成23年度證誠寺佛教壮年会総会

5月7日午後一時から證誠寺会館に於いて総会が開催されました。

式典後、仏壮・仏婦に別れ議題審議、再度一同に会し、宗真寺石川慶子住職の御講話を聴聞しました。東日本大震災の後の重苦しい御自分の気持ちを吐露されながらの御法話に一同共感を覚えると共に、仏法がより身近に感じられたことでした。

- 総会後は、茶話会の後、恒例の懇親会に移り、石川住職にも出席して頂き楽しい一時を過ごしました。
- 総会で承認された計画に沿って次の事業を実施していきますので、広く皆さま方の御協力、御参加をお願い致します。
- 1、報恩講・狸まつりの推進・実行
 - 2、教化布教活動の推進
 - 3、同好会活動の推進
- ・常例法座への参加
 - ・千葉組、東京教区仏壮研修会参加
 - ・ゴルフ・野球・囲碁将棋・ハイキング等

二十三年度證誠寺 仏教壮年会事業計画

総会記念法話



宗真寺住職 石川慶子 師

宗真寺石川慶子住職は「西(前仏婦会長)さんからの講師要請と隆御住職の『思いのたけを語って』の言葉に安心してここに立っています。」と。3月11日の東日本大震災後、日々「思い」「念い」「想い」が過多になり伝えたいが溢れて、今は重い肩に。形あるものは滅すの通り、あの津波は無常の理(ことわり)をまざまざと見せつけた。

津波は個体をさらい、放射能事故は生命の根源を破壊していく。生命の危機である。それは決して東日本人だけの苦悩ではない。

小林一茶の「露の世は、露の世ながら さりながら」の句に万感を回らした。桜が咲く姿も生まれ育つ姿も無常の形を教えている。豊か過ぎ、明かる過ぎると目が眩んで見えな。暗闇と同じ。貧しさの中でこそ光を見出し、繋がり合って生きるもの。一人では生きられないと知る。

不可思議の縁の中に、南無阿弥陀仏と戴いて行こう。「今、いのちはあなたを生きている」(東本願寺派の標語)のです。

仏壮人事

敬称略

- 新任 西村健太郎
 退任 田山孝
 退会 5人
 新入会員
 栗原政義
 (木更津市大久保)
 五十嵐英夫
 (袖ヶ浦市神納)
 南田正児
 (安房郡鋸南町)
 境屋邦夫
 (袖ヶ浦市蔵波台)

仏教婦人会総会

献灯五十嵐浩氏、献花田中好枝様、伊藤紀美枝様、讃仏偈調声折田兼隆氏によって法要が営まれ、住職挨拶の後、仏社は別室に移動。仏婦会綱領発声は伊藤万紀子理事、金子圭子会計のピアノ伴奏でアソカの園の斉唱と立石トシ子副会長の司会で総会に入った。22年度事業、会計、監事会各報告は滞りなく認められ、23年度事業計画案、予算案では当山開基350年に記念品の提案や、奉仕活動を近隣施設に変更をの意見は新役員会で検討、一任とする事で了承を得た。承認された新役員名は次の通り。尚久保会長は「今年は親鸞聖人の750回大遠忌法要、證誠寺開創350周年の記念の行事が行われます。またとない佳きご縁

仏教婦人会 新体制

- | | |
|-----|-----------------------|
| 会長 | 久保妙子 |
| 副会長 | 立石トシ子 伊藤万紀子 |
| 会計 | 金子圭子(コーラス担当)
片山佳代子 |
| 理事 | 長山美恵子 村井道子 |
| | 朝原 薫 満丸栄子 |
| | 保井時子 原さくら |
| | 田山節子 城野弘子 |
| | 岸本光代 家入智恵子 |
| | 長谷川圭子 保泉孝子 |
| | 伊藤紀美枝 |
| 監事 | 富永禮子 古江節子 |
| 相談役 | 西 仁子(みのり会担当) |

新入会員

- 田中由枝 (木更津市畑沢)
- 今田ひろみ (木更津市大久保)
- 堀井清子 (木更津市祇園)
- 福元久美子 (市原市青葉台)
- 飯島宏枝 (袖ヶ浦市福王台)
- 松岡安子 (君津市南子安)
- 新島加代子 (木更津市大久保)
- 吉田ヤエ子 (木更津市清川)



に遭えました事を喜びながら少しでも皆様のご期待に添える様に一生懸命皆で努めさせて戴くつもりでございますので宜しくお願い致します。」と挨拶した。

大遠忌法要記念

第14回世界仏教婦人会大会 京都にて開催

5月16日
~18日

16日の本願寺御影堂での音楽法要は、女性僧侶を主として営まれ、当寺西 仁子衆徒(住職以外の僧侶)も出勤のご縁に遇えた。被災した東北、東京、宮崎各教区は優先席だった。大会は外国からの500名程が放射能汚染の理由でキャンセル。総勢四千名の出席でした。

新門様に初子ご長男誕生の報に会場が沸いた。総裁様(お裏方、ご門主夫人)も新門様も当寺勢6名と快く写真に取まって下さった。参加国代表の発表、交流、弁護士大平光代氏のトーク、大遠忌に合わせて比叡山延暦寺の特別解放、親鸞聖人蕎麦喰いのお木像、源信和尚、法然聖人のお像等宝物の拝観、三聖人の参拝記念誌や幾種もの大会記念品を頂き、感動に包まれた三日間でした。 合掌



仏婦役員歓送迎会

6月15日 季眺にて

役員改選に伴い、3年間の会長を退任し、相談役に就いた西前会長及び三役(会計)を下りた家入理事の慰労を長谷川、保泉、伊藤(紀)各理事就任の歓迎会が22名の出席の下会費制により開催されました。久保会長の司会で進行し、坊守の送る・迎える、そして全員へとそれぞれに心のこもった言葉に続いて、西前会長から「ご不満は色々あったでしょう。私にとりましては有難いご縁でした。證誠寺の一員として仏婦活動が出来る身、させて頂ける身を喜びましょう。喜んで私に出来ることをさせて頂きましょう。お世話様でした。有り難うございました。」と挨拶があった。



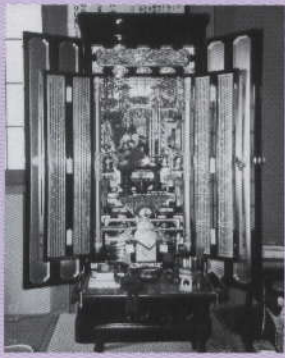
仏事あれこれ

— お仏壇は死者を祀る所? —

お仏壇とは、本来“今生きている家族の誰かが死んで初めて必要になるもの”でも、“長男が面倒をみれば事足りるもの”でも、“死者や先祖をまつる場所”でもありません。

ちょっとしたことにこだわり、悩み、自己を見失いがちになる私をしっかりと抱きとめ、決して崩れることのない安らぎを、阿弥陀さまは与えて下さいます。お仏壇は、そんな「私の心の拠り所」となり、「家庭の精神的基盤となって下さる阿弥陀さまをご安置するため」に設けるのです。

心の問題が山積している昨今ですが家族そろって阿弥陀様に手を合わせることが、どれほど心豊かな家庭生活につながるかわかりません。独立したご家庭であれば、家ごとにお仏壇が安置されることが望ましいのです。



「仏教讃歌がこんなにも美しい曲とは知らなかった。歌詞が違えば他の教室でも歌えます。」と。練習後お二人の歓送迎会が開かれ、細やかながら温かい一時を過ごしました。

5月13日

コール證誠寺 指導者歓送迎会

指導担当の藤里玲子先生が4月を最後に引退され、門徒で音楽教室を幾つもお持ちの要海香先生が後任を受けて下さる。5月の初指導は力強く「

「六字の会」22回総会

一年に一回の六字の会、今年はず原市の西光寺が担当事務局で6月19日千葉市文化センター5階のセミナー室で行なわれました。ご講師は西天寺吉弘住職の友人ではあるが広島湯来町から来られた西方寺住職吉崎哲真師で、山の中の素朴な環境の中でのお寺の体験が顔やお話の中にじみでていて、丁度よい。そして中道という意味もはつきり理解す



護持会総会

ることができました。證誠寺からは12名の会員が参加しました。

5月16日、平成23年度の総会が行われました。定例法座終了後、各幹事世話人を入れて約90人、議長に平山幹事長、司会と会計報告は星原幹事が行ないました。幹事長の概要説明の中で特に今年度の東日本大震災に対する護持会よりの百万円の義援金の拠出案も大きな拍手の中で承認されました。質疑応答では田山氏からの貴重なアドバイス、又会員の把握や護持会費の徴収等についてお寺がすべての事務処理をしていくのが大変な事のように

今後の改善が必要とされました。尚、会計報告につきましては7月号の寺便りに同封してご門徒に送付致します。



4月20日 千葉組仏婦連盟 みのり会総会

大遠忌法要の年に当たり、団体参拝、各寺行事に参加しやすい様

に教区仏婦連盟同様、独自研修会は不開催となった。隆康浩法光寺住職より「大遠忌を迎えて」と時宜にかなった記念法話を頂いた。

證誠寺会館での葬儀

浄土真宗 門徒であれば、どなたでもお気軽に證誠寺会館をご利用いただき、通夜・葬儀を行うことができます。各葬儀社の互助会にご加入の方も問題なくご利用可能です。



證誠寺会館での葬儀風景

證誠寺会館を利用したご葬儀は、不要な出費が抑えられ、またお寺で葬儀が営まれることで、後継者や参列の方々にも仏さまとの深いご縁を認識していただけることでしょう。

大規模葬から家族葬までどのような規模・内容にも対応可能です。葬儀店をお探しの場合は実績のある業者をご紹介します。

なお使用に当たっては一日5万円の冥加金を基本としております。不明な点、疑問質問等はお気軽に当寺(0438222018)までご相談下さい。

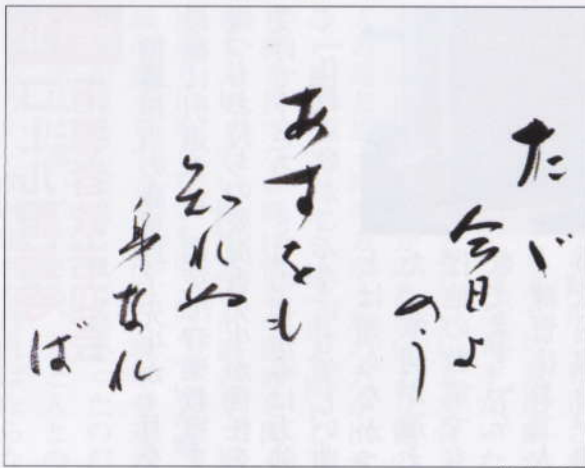
「私の仏縁」



木更津市請西東
荒木陽子

昭和44年北九州から主人の転勤で木更津へ参りました。

主人の実家も私も浄土真宗です。今から七年位前に老境に入った主人が證誠寺へ行ってご挨拶がしたいと云ってましたが結局思いを果せず平成19年夏他界してしまいました。



隆 政子書

仏社会野球部だより

6月6日、仏社会野球部の精鋭（平均年齢73歳）12名が揃いました。9時、小櫃堰公園野球場に集合、西村コーチのもと打撃練習、守備練習と、いよいよ7月3日宗真寺チームとの試合に向けての総合練習となりました。老にムチ打っての各人のガンバリに頭の下がる思いでした。



選手名

富永和雄	坂口 惇	平田隆志
西 生清	原 和義	南田正児
保泉庄平	西村健太郎	岡井六男
藤本国寛	中村 隆	五十嵐英夫
朝原幸穂	菊地 優	マネージャー
合戸龍興	星原光博	安田雪代

其のご縁で證誠寺さんとの繋がりが出来ました。実家の母もお寺参りしたり、お友達とご法話の話しをしていたようです。其のせいでしようか私は浄土真宗に大変親しみを感じておりました。

主人がいなくなつて淋しくて、何かにすがりたい思いで定例法座に参加させて頂き、お聴聞を重ねる度日々を過ごしております。

これからの人生も阿弥陀様のお助けに生きて行けるようお導き下さい。

仲間の皆様も心優しく仏縁に遇えた事心より感謝致します。

合掌

平成21年に御座に寄せての詩です。私はこの詩をよんで本当に反省させられました。

欲や瞋りや愚痴が出る
出る度毎にみ仏の
慈悲の心にたちかえり
力の限り生きて行く

たまに腹立つ事有れど
人を怨まず憎まずに
心貧しい我故と
気づけば自然に晴れます
聞かせて貰うたお陰様
ああ有難や南無阿弥陀仏

仏壮勉強会

5月 宗祖讃仰和讃勤行練習

親鸞聖人のご生涯

6月 ビデオ(DVD)鑑賞

※ブツ大いなる旅路

7月 ビデオ(DVD)鑑賞(予定)

※ピルマの堅琴

仏壮勉強会は、毎月2回目の木曜日、午後1時半から会館2階で開催されております。

手作りの勉強会として、出席者の意見、希望を取り入れながら、今後とも長く続けて行きたいと考えています。皆さん気軽に出席して下さい。

「命の缶詰」洗浄ボランティアに参加

石巻市の缶詰加工会社「木の屋石巻水産」は、3月11日の大津波で破壊的被害を受けました。倉庫に保管していた約100万個の缶詰も流されました。其の缶詰が、会社や地域復興の糧となり、「命の缶詰」と銘打って復興支援金の協力者に御礼に配られています。其の缶詰は、津波で流され油泥まみれです。「命の缶詰」洗浄作業が、5月14日に木更津市茅野で行われ證誠寺から立石・西の両夫妻が参加しました。



「命の缶詰」洗浄作業が、5月14日に木更津市茅野で行われ證誠寺から立石・西の両夫妻が参加しました。